



サンウエスパ

Recycle ♻️ Revolution

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

作成日 令和6年7月24日

目 次

1, 組織の概要	(3)
1) 事業所名及び代表者氏名	
2) 所在地	
3) 環境管理の責任者氏名及び担当者連絡先	
4) 事業活動の内容	
5) 事業規模	
6) 処理工程図	
7) 許可・登録の内容	
8) 主要設備	
2, 対象範囲	(7)
エコアクション21の取組体制	
3, 環境経営方針	(8)
4, 環境経営目標(3年間の目標)	(9)
5, 環境経営計画と取組内容	(10)
6, 環境経営目標の実績	(11)
7, 環境経営計画とその結果	(12)
8, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	(13)
9, 代表者による全体評価と見直し・指示	(14)

1、組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 サンウエスパ
代表取締役 原 有 匡

2) 所在地

本 社 : 岐阜県岐阜市岩田西三丁目 429 番地
電 話 : 058-241-8077
ファックス : 058-241-8071

各務原事業所 : 岐阜県各務原市那加西市場町四丁目 17 番地
電 話 : 058-389-3130
ファックス : 058-389-1905

長良事業所 : 岐阜県岐阜市若福町 7 番 5 号
電 話 : 058-231-2362
ファックス : 058-294-2994

3) 環境管理の責任者氏名及び担当者連絡先

環境責任者 佐古 寛
環境管理事務局 鷺見 舞子
発行責任者 佐古 寛
本社

電 話 : 058-241-8077
ファックス : 058-241-8071
E-mail : info@sunwaspa.com
H P : <http://www.sunwaspa.com>

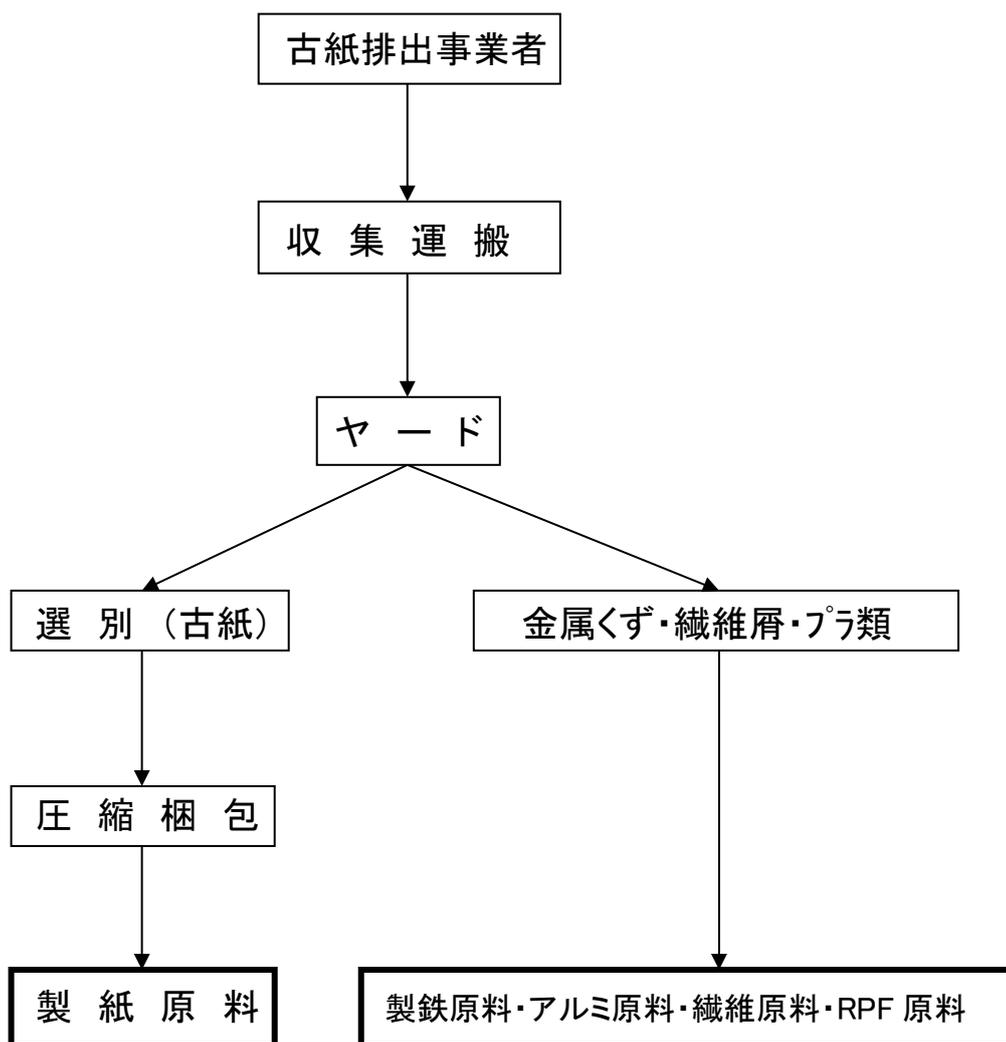
4) 事業活動内容

- ① 古紙その他製紙原料の収集、回収、選別、加工、売買
- ② 金属くず、繊維くず、プラ類の収集、売買
- ③ 産業廃棄物収集運搬
- ④ 産業廃棄物中間処理

5) 事業規模

法人設立年月日 : 昭和 40 年 1 月 10 日
資 本 金 : 3000 万円
売 上 高 : 740 百万円(令和 5 年度)
従 業 員 : 51 人
敷 地 面 積 : 本社 7241 m² 各務原 5739 m² 長良 2692m²
再生資源処理量 : 30,190t(令和 6 年度)
産業廃棄物中間処理量 : 1.98t(令和 6 年度)
産業廃棄物収集運搬量 : 10t(令和 6 年度)

6) 処理工程図



7) 許可・登録の内容

廃棄物再生事業者登録

地域	区分	種類	登録番号	登録年月日
岐阜県	廃棄物再生事業者登録	古紙の再生(専ら古紙)	環整 77 号	平成 7 月 5 月 16 日

産業廃棄物許可内容

地域	区分	種類	許可番号	許可年月日 有効期限
岐阜県	産業廃棄物処分業(中間処理)	廃プラスチック類(紙に付着した物・発泡スチロール)	02121062600	令和元年 11 月 18 日 令和 6 年 11 月 17 日
岐阜県	産業廃棄物収集運搬業	燃え殻・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・ガレキ 以上 14 種類	2101062600	令和 6 年 8 月 6 日 令和 11 年 7 月 20 日
愛知県	産業廃棄物収集運搬業	同上	02300062600	令和 2 年 8 月 4 日 令和 7 年 8 月 3 日
三重県	産業廃棄物収集運搬業	同上	2400062600	令和 2 年 8 月 24 日 令和 7 年 7 月 24 日
滋賀県	産業廃棄物収集運搬業	同上	2501062600	令和 2 年 7 月 4 日 令和 7 年 7 月 3 日

8) 主要設備

運搬車両の種類と台数(令和6年7月20日現在)

車両の種類	台数
塵芥車	17
アームロール	1
2トントラック	7
2トンダンプ	7
3トントラック	2
4トントラック	10
大型トラック	1
ユニック車	2
軽トラック	1
営業車	5

本社 機械設備(令和6年7月20日現在)

機械設備の種類	基台数
油圧式圧縮プレス梱包機	1
トラックスケール(40t)	1
フォークリフト	1
クランプリフト	2
ショベルローダー	1

各務原事業所 機械設備(令和6年7月20日現在)

機械設備の種類	基台数
油圧式圧縮プレス梱包機	1
古紙選別機	1
トラックスケール(40t)	1
天井クレーン	1
フォークリフト	1
クランプリフト	1
ショベルローダー	1

長良事業所 機械設備(令和6年7月20日現在)

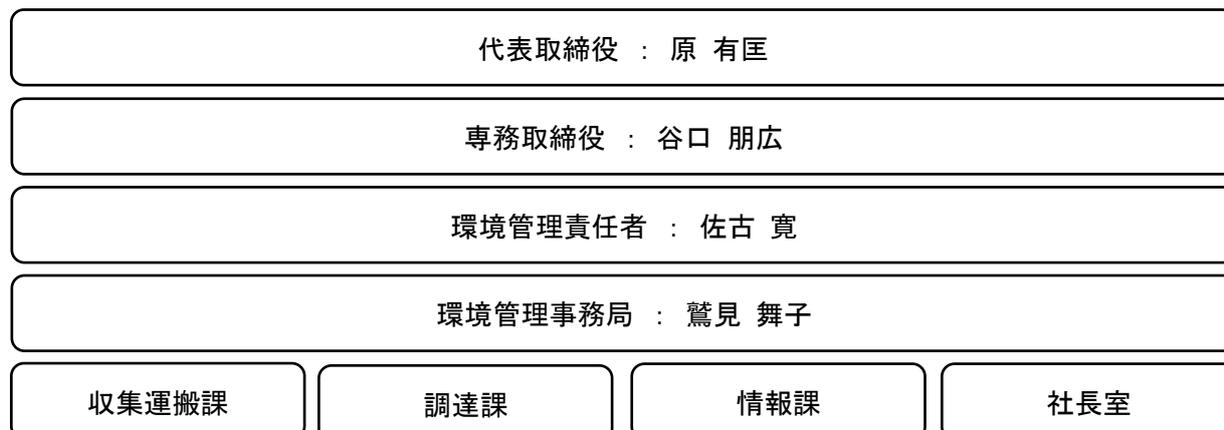
機械設備の種類	基台数
油圧式圧縮プレス梱包機	1
トラックスケール(40t)	1
フォークリフト	1
ショベルローダー	1

2、対象範囲

- ① 認証・登録範囲 : 古紙その他製紙原料の収集、回収、選別、加工、売買及び、
金属くず、繊維くずの収集売買、産業廃棄物収集運搬
- ② 対象事業所 : 本社、各務原事業所、長良事業所
- ③ レポートの対象期間 : 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ④ 発行日 : 令和6年7月24日
次回発行予定日 : 令和7年6月

2. 1 エコアクション 21 の取組体制

1) 組織図・取組体制



2) 役割

責任者	役割・責任・権限
代表取締役	経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定 環境管理責任者の任命 資源の用意 全体の評価と見直し
専務取締役	システムの運用
環境管理責任者	システムの構築 実績の総括 代表者への報告 各担当者の任命 運用状況の確認 環境教育の計画
環境管理事務局	環境管理責任者の補佐 文書・記録類の管理
情報課 / 経理課	取組状況の記録
従業員	取組の実行

3、環境経営方針

我社の指針《私達は、地球の森林資源を守る使命があります》に表していますが、森林の伐採等による世界中の森林の減少による自然破壊が進んでいる現状を人類皆が意識してこれを守っていかなければなりません。

当社は、紙の原料となる古紙の流通を通じゴミを減らし同時に森林を守る大切な資源リサイクルの仕事をしています。

資源循環型社会の形成の先駆をいく古紙リサイクルの事業を通じて古紙の仕入、選別、圧縮、梱包、輸送の事業拡大を目指すとともに、環境への影響を配慮し、環境への負荷の減少と汚染の予防を図ることに皆が留意して環境を守ることを方針としています。

1. エコアクション21に基づく環境経営システムに取り組み、環境関連の法規等の規制事項を遵守するとともに、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮しつつ、環境活動の継続的改善を図る。
2. 環境目標及び行動計画として下記の重点事項を設定し、必要に応じて見直すことによって、環境経営方針に整合した活動を行う。
 - ① 古紙回収システムに付随するシステムの革新による効率化
 - ② 廃棄物の徹底的な分別によるリサイクルの推進
 - ③ 電力使用量削減と運搬車両用燃料削減による省エネルギーの推進
 - ④ 作業上における用水使用量の削減と適正使用
3. 環境コミュニケーションを通じて、環境経営活動の状況を内外に伝達する。
4. 従業員の教育を通じて回収効率や資源分別の徹底を実現する。
5. 全従業員にこの環境経営方針を周知する。

制定日 平成 20 年 9 月 10 日

改訂日 令和 3 年 4 月 1 日

株式会社サンウエスパ
代表取締役 原 有 匡

4、環境経営目標(3年間の目標)

※下表は、古紙集荷量1tあたりを基準として、発生する環境負荷を記載しています。

環境目標	単位	基準値 2021年度実績	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
1. CO2 排出量	kg-CO2/t	16.18	16.02	15.86	15.38
			前年度比-1%	前年度比-1%	前年度比-3%
2. リサイクルの推進 (古紙集荷量)	t	35,862	36,221	36,583	37,680
			前年度比+1%	前年度比+1%	前年度比+3%
3. 一般廃棄物排出量	t/t × 10 ⁻⁵	2.90	2.90	2.90	2.90
			±0%	±0%	±0%
4. 産業廃棄物排出量	t/t × 10 ⁻³	1.07	1.07	1.07	1.07
			±0%	±0%	±0%
5. 水使用量	m ³ /t × 10 ⁻²	4.31	4.31	4.31	4.31
			±0%	±0%	±0%
6. 資源使用量(番線)	t/t × 10 ⁻³	1.34	1.34	1.34	1.34
			±0%	±0%	±0%

※化学物質を使用していないため、「化学物質使用量の削減」は目標に含まれていません。

※当社の取り扱い品目は、専ら物に該当するものがほとんどであり、産業廃棄物の受託はごくわずかです。そのため、「受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目」は目標に含まれていません。

※電力の二酸化炭素排出係数(0.384kg-CO2/kWh)には、環境省が公表する令和6年提出用の電気事業者別排出係数を参照しています。

5、環境経営計画と取組内容

環境目標	取組項目
1. CO ₂ 削減 ① 電力使用量の削減	不要時の消灯
	設備運転停止時の電源オフ
	エアコン温度管理の徹底
	省エネ型エアコンの導入
	パソコンの省エネ
	ベラー不要時の停止
② ガソリン使用量の削減 ③ 軽油使用量の削減	車両の点検整備の徹底
	車両走行距離の低減
	エコドライブの徹底
	アイドリングストップ
	燃費管理
④ LP ガス使用量削減	給油室使用の削減
⑤ 灯油使用量の削減	不要時の消火
2. 一般廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底
	リサイクル用途の開拓
	事務部門での分別徹底
3. 水使用量の削減	機械の節水、散水時の節水
	節水タイプトイレの導入
	手洗い時の節水
4. リサイクルの推進	古紙の回収
	廃プラスチック類の回収
5. グリーン購入推進	事務用品などで使用

6、環境経営目標の実績(原単位)

※下表は、古紙集荷量1tあたりを基準として、発生する環境負荷を記載しています。

環境目標	基準値	令和4年度目標 (R4年4月 ~R5年3月)	運用期間	
	令和3年実績 (R3年4月 ~R4年3月)		実績	評価
1.CO2排出量の削減	16.18 kg-CO2/t	15.86 kg-CO2/t	18.60 kg-CO2/t	17%増 ×
(CO2排出総量)	-	-	(580,695kg-CO2)	-
①電力使用量の削減	-	-	19.89 kWh/t	-
②ガソリン使用量の削減	-	-	0.55 L/t	-
③軽油使用料の削減	-	-	11.69 L/t	-
④LPガス使用量の削減	-	-	1.21 kg/t × 10 ⁻³	-
⑤灯油使用量の削減	-	-	34.07 L/t × 10 ⁻³	-
2.リサイクルの推進	古紙 35,862t	古紙 36,583t	古紙 30,190t	18%減 ×
3.一廃排出量の削減	2.90 t/t × 10 ⁻⁵	2.90 t/t × 10 ⁻⁵	3.44 t/t × 10 ⁻⁵	18%増 ×
4.産廃排出量の削減	1.07 t/t × 10 ⁻³	1.07 t/t × 10 ⁻³	0 t/t × 10 ⁻³	100%減 ○
5.水使用量の削減	4.31 m ³ /t × 10 ⁻²	4.31 m ³ /t × 10 ⁻²	6.34 m ³ /t × 10 ⁻²	47%増 ×
6.資源使用量の削減	番線 1.34 t/t × 10 ⁻³	番線 1.34 t/t × 10 ⁻³	番線 1.35 t/t × 10 ⁻³	1%増 ×

○ : 目標達成 × : 目標未達成

※電力の二酸化炭素排出係数には、環境省が公表する令和6年提出用の電気事業者別排出係数を参照しています。

※使用した排出係数は、ミツウロコヴェッセルの0.384kg-CO2/kWhとNEXT POWERの0.601kg-CO2/kWhです。

7、環境経営計画とその結果

環境目標	取組項目	評価	
1.CO ₂ 削減 ①電力使用量の削減	不要時の消灯	○	概ね実行、継続維持
	設備運転停止時の電源オフ	○	概ね実行されている。今後とも継続実施
	エアコン温度管理の徹底	△	概ね実行、継続維持
	省エネ型エアコンの導入	○	平成30年12月新社屋に設置
	パソコンの省エネ	○	概ね実行、継続維持
	ベレー不要時の停止	○	概ね実行、継続維持
① ガソリン使用料の削減 ② 軽油使用料の削減	車両の点検整備の徹底	○	概ね実行、継続維持
	車両走行距離の低減	○	効率化を継続維持
	エコドライブの徹底	○	教育の徹底
	アイドリングストップ	△	実効不十分、教育の徹底
	燃費管理	○	実施不十分、管理の徹底
③ LP ガス使用量の削減	給湯室使用の削減	○	概ね実行、継続維持
④ 灯油使用量の削減	不要時の消火	△	実効不十分、教育の徹底
2.廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底	○	概ね実行、継続維持
	リサイクル用途の開拓	○	概ね実行
	廃棄番線の削減	○	概ね実行、継続維持
	事務部門での分別徹底	○	分別ボックスの設置
3.用水使用量の削減	機械の節水、散水時の節水	○	機械の点検の徹底
	節水タイプトイレの導入	○	平成30年新社屋に設置
	手洗い時の節水	○	概ね実行、継続維持
4.リサイクルの推進	裏紙の利用	○	概ね実行、継続維持
5.グリーン購入推進	事務用品などで使用する	○	概ね実行、継続維持

○ : 良好 △ : ほぼ達成 × : 未実施

8、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1) 当社に適用となる主な環境関連法規等と遵守状況

	法律名	遵守すべき事項	評価
①	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物マニフェストの管理 ・廃棄物処理契約書 ・一般廃棄物及び産業廃棄物の表示と分別管理 ・知事への報告 ・処理業者の現地確認 	遵守
②	騒音規制法、振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音・振動規制基準の遵守 ・対象特定施設の届出 	遵守
③	消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者の設置 ・指定可燃物取扱いの届出・表示 	遵守
④	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検実地(年4回) ・清掃(年1回) ・法定検査(年1回) 	遵守
⑤	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易点検(年4回) ・点検・整備の記録作成・保存 	遵守
⑥	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・物品購入等に際し、できる限り、環境物品等を選択 	遵守

2) 違反・訴訟などの有無

- ・当社の事業活動に関する法令違反は本社・各務原・長良事業所ともにありません
- ・関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

9、 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

1) 実施日 令和6年7月24日

2) 見直しのための情報

- ①環境方針、②環境目標、環境活動計画の達成状況
- ③経営システムの実施状況、④環境関連法規制等の遵守状況
- ⑥問題点の是正状況、⑥ 利害関係者の要望事項
- ⑦改善のための提案、⑧その他

3) 評価・見直しの必要性

- | | |
|----------|----|
| ① 環境経営方針 | 不要 |
| ② 環境経営目標 | 不要 |
| ③ 環境経営計画 | 不要 |
| ④ 実施体制 | 不要 |

4) 代表者の総合コメント

2023年度は古紙取扱量が大きく減少し、業績だけでなく環境経営的な観点においても、良くない影響を与えた。

現状を脱するには、より一層の業務効率化を図る必要がある。

その実現のため、組織再編を行い、機能の最適化と労力の集中が可能な体制を構築する。

また、次年度では新たな取り組みとして、SBT 認証の取得と、自社サービスの CO2 排出量を顧客にフィードバックするシステムの運用を予定している。

これらを通して、自社の環境経営がより一層強化されることを期待する。